



平成18年4月24日

各 位

会 社 名 リバーエレクトック株式会社
代表者名 代表取締役社長 若尾 富士男
(J A S D A Q ・ コード番号 : 6 6 6 6)
問合せ先 取締役総務本部長 秋山 正雄
(T E L . 0 5 5 1 - 2 2 - 1 2 1 1)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年10月28日に公表しました平成18年3月期(平成17年4月1日~平成18年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成18年3月期通期業績予想(連結)の修正(平成17年4月1日~平成18年3月31日)
(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	7,615	271	144
今回修正予想(B)	8,045	482	174
増減額(B-A)	429	210	30
増減率(%)	5.6	77.7	21.1
(ご参考) 前期実績(平成17年3月期)	7,525	576	329

2. 平成18年3月期通期業績予想(個別)の修正(平成17年4月1日~平成18年3月31日)
(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	7,073	175	103
今回修正予想(B)	7,385	330	159
増減額(B-A)	312	154	56
増減率(%)	4.4	88.3	54.6
(ご参考) 前期実績(平成17年3月期)	6,983	623	366

3. 修正の理由

水晶製品事業は、無線LAN、ブルートゥース等を中心とした近距離無線通信向けやカーエレクトロニクス向け等において販売数量が計画以上に推移したことに加え、販売価格の維持に努めた結果、売上高は計画を上回りました。また、販売数量の増加による固定費負担の軽減に加え、歩留まり改善等の生産性向上もあり、経常利益も計画を上回りました。一部生産設備の除却損を計上しましたが、当期純利益についても計画を上回る見込みであります。

なお、個別業績予想につきましては、連結業績予想に係る内容と同一のため、記載を省略いたします。

<業績等の予想に関する注意事項>

上記の業績予想は、現時点での入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、不確定要素の変化により、実際の業績は本資料における見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。

以 上